

水遊び・プール遊びについて

梅雨に入りましたが、天気の良い日は楽しく活動していきます。
水遊び・プール遊びは思っている以上に体力を消耗します。たっぷりと睡眠をとり、朝食をしっかりと食べてから登園するようにしましょう。

こんな時はプールに入れません。

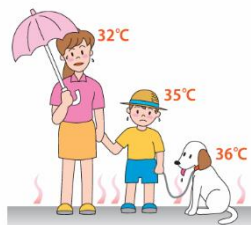
- ・咳や鼻水が出ている。
- ・喉やその周りが赤い、喉に痛みがある。
- ・目が赤く充血している。
- ・普段より多く目やにが出ている。
- ・耳だれが出ている、耳の痛みを訴える。
- ・とびひやアトピーが悪化している
- ・じゅくじゅくした傷がある
- ⑩水いぼがある場合はラッシュガードなどで完全に覆ってください。
- ・登園時に絆創膏を貼っている場合には職員と貼ってある場所の確認をお願いします。
- プール後の貼り直しは基本しません。
- ・お薬(感冒薬など)の内服・ホクナリンテープ使用時も入れません。



熱中症に気をつけましょう

子どもは大人よりも

体温調節が苦手です



子どもの熱中症は、保護者や周囲の大人が異変に気付くことが重要です。子どもは自分の体の状態を判断することや、体調が悪い、のどが渴いたなどの状態を的確に表現することができません。「疲れた」「気持ち悪い」「おなかが痛い」も熱中症のサインかもしれません。顔が赤かったり、汗いっぱいになっていないか大人が注意してあげましょう。

7月保健行事予定

16日(火)身体測定

17日(水)乳児健診(0歳)

※他クラスのお子さんでも気になることや、園医に相談がある場合には、当日一緒に診てもらえますのでお知らせください。



子どもは体温調節能力が十分に発達しておらず、さらに体が小さいため、気温の影響により熱しやすく冷めやすいという特徴があります。また天気の良い日は地面に近いほど温度が上がるため、子どもは大人よりも暑い環境にいます。気温が高い日は特に注意し、適切な飲水、定期的に涼しいところで休憩をとるようにしましょう。

「疲れた」は熱中症のサインかもしれません

